※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次(体育科)
使用教科書	「新・高校生の美術Ⅰ」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・幅広い方向からモノ作りの面白さを伝えるため、表現ではデッサン・色彩・構成・材料や用具の生かし方などの技能を指導するとともに、意図に応じた多様な表現方法の工夫を行っている。
・鑑賞では、他者の作品を鑑賞し意見を交換することで、作者の心情や意図と表現の工夫を理解し、美術への関心を持たせるよう指導している。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，美的体験を重ね，生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	素描基礎	**【絵画】手のデッサン** 形の捉え方やプロポーションを理解し、自分の手をモチーフにデッサンする。	a:形の捉え方や鉛筆の扱い方、明暗による表現を理解できている。 b:モチーフを良く観察し、構想を練って制作できている。 c:鉛筆の多様な表現に関心を持ち、鉛筆での制作に意欲を高めている。	作品	作品	制作に取り組む態度 振り返りシート
	立体基礎	**【彫刻】手の立体** スケッチ 様々な角度から手のスケッチをする。 制作 紙粘土で手の立体を制作	a:形・構造を理解している。 b:表現したい内容を伝えられるよう形等での工夫がみられる。 c:紙粘土の多様な表現に関心を持ち、意欲的に制作を行えている。	作品 スケッチ	作品 スケッチ	制作に取り組む態度 振り返りシート
2学期	色彩基礎	**【デザイン】トーン表** ワークシート 色彩基礎色を理解する。 制作 トーン表に従い、絵の具で同じ色を作り着色する。	a:正確な色を作り、はみ出ず、ムラなく、塗ることができる。 b:色の三属性や混色の方法、絵の具の特徴を理解できている。 c:絵の具の多様な表現に関心を持ち、絵の具での制作に意欲を高めている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	制作に取り組む態度 振り返りシート
	色彩構成	**【デザイン】色彩構成** デッサン モチーフである紙コップをデッサンする。 ワークシート 画面区分による感じ方、伝わり方(構成)を学ぶ 制作 モチーフを色彩分割し鉛筆で着色させ、無彩色の作品を制作する。 その無彩色の作品と明暗が同じ有彩色の色を絵の具で作り、着色することで、色での立体感の出し方や色遠近の技術を学ぶ。	a:明度、彩度を考えた色を作り、はみ出ず、ムラなく、塗ることができる。 a:配色での立体的は見せ方や色遠近を理解できている。 b:想像力を働かせ、構成や配色に工夫ができている。 c:絵の具の多様な表現に関心を持ち、絵の具での制作に意欲を高めている。	作品 デッサン ワークシート	作品 ワークシート	制作に取り組む態度 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	油絵	**【絵画】油絵** スケッチ 校内の好きな風景をスケッチする。 制作 スケッチを頼りに油絵を制作。 油絵の具の使い方、特徴、技法　理解し描く。	a:意図に応じて材料や用具の特徴を生かし、表現方法を工夫して主題を追及して表現している。 a:油絵の特徴や絵画の魅力を理解している。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、校内における自分の居場所をみつけ感じ取ったことを形体、色彩、構成などを工夫して創造的は表現の構想を練っている。 c:油絵の具の多様な表現に関心を持ち、油絵の具での制作に意欲を高めている。	作品 スケッチ	作品 スケッチ	制作に取り組む態度 振り返りシート
	鑑賞	**【鑑賞】芸術鑑賞** レポート 校内で展示されている作品を鑑賞しレポートを書く。	a:作品から技術や技法を理解している。 b:思考力を働かせ作者の意図を感じ取れるか。 c:芸術作品に関心を持ち、理解しようとする姿勢があるか	レポート	レポート	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度